

CITIZEN®

取扱説明書

このたびは、シチズンウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。

なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要の際にご覧ください。

シチズンのホームページ(<http://citizen.jp/>)でも操作方法がご覧いただけます。また、モデルによっては、外装機能(計算尺、タキメーターなど)が搭載されている場合があります。取扱説明書に記載されていない外装機能の操作も、同様にご覧いただけます。

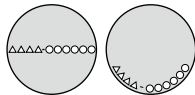
機種番号の見かた

時計の裏ぶたに、アルファベットを含む4ケタと6ケタ以上からなる番号が刻印されています。(右図)

この番号を「側番号」といいます。

側番号の先頭の4ケタが機種番号になります。右の例では「△△△△」が機種番号です。

刻印の位置の例






時計によって表示位置は異なります。



安全にお使いいただくために—必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、**20～29**ページを必ずお読みください。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

■ダイビングにおける注意

⊘ 禁止 ダイビングでの使用禁止事項

- 時計が止まったり異常が生じたときは、ダイビングにこの時計を使用しないでください。

⚠ 注意 ダイビングでの使用にあたって

- ダイバーズウォッチのご使用にあたっては、必ず各種のダイビングに関する教育やトレーニングを受け、それにしたがったルールを守ってご使用ください。
- 時計の取り扱いと注意事項を十分に理解して、正しくご使用ください。
万一この取扱説明書にない取り扱いをした場合には、時計が正しく機能しないことがあります。

⚠ 注意 ダイビングの前には

- 以下の項目について、時計を確認してください。
 - ぜんまいが十分に巻き上げられているか
 - 時計が正しく動いているか(時刻/カレンダー/秒針の動き)
 - りゅうずがきちんと押し込まれ、しっかりねじロックされているか
 - バンドが時計本体にしっかり固定されているか
 - バンドやガラスにヒビ、キズ、カケなどの異常がないか
 - 回転ベゼルが正常に回転するか

⚠ 注意 ダイビング中は

- 水中で、りゅうずを操作しないでください。防水不良などの故障の原因になります。
- 時計を、ダイビングの器材や岩など固いものにぶつけたりしないでください。

⚠ 注意 ダイビング後は

- りゅうずがねじロックされていることを確認の上、時計に付着した海水や泥、砂などを真水で良く洗い落とし、乾いた布などで時計の水分を拭き取ってください。

もくじ

機械式時計について.....	7
この時計の特長.....	9
ご使用になる前に.....	10
各部の名称.....	13
ぜんまいについて.....	14
時刻とカレンダーを合わせる.....	16
回転ベゼルを使う.....	18
防水性能について.....	20
お取り扱いにあたって.....	22
保証とアフターサービスについて.....	30
製品仕様.....	32
お問い合わせ窓口.....	34

機械式時計について

■ 機械式時計の精度について

本書に記載されている精度表示は、常温時における静的精度です。機械式時計の精度は、次の使用条件などにより精度範囲を超える場合があります。

- ぜんまいの巻き上げ量
- 姿勢
- 使用環境(温度/磁気/衝撃など)

ぜんまいの巻き上げ量

機械式時計は、ぜんまいが十分に巻き上げられた状態で、最も安定した精度を維持することができます。

姿勢

機械式時計の精度は、重力の影響を受けて変化します。身につけているとき、時計はさまざまな姿勢(向き)になるため、重力の向きが刻々と変わり、精度に差が生じます。

機械式時計について

使用環境(温度/磁気/衝撃など)

- 機械式時計は、精度を制御する部分に金属部品が使われているため、温度変化による金属の膨張、収縮の影響を受けて精度に差が生じます。
- 機械式時計は、金属の部品を使用しているため、磁力の影響を受け、精度に差が生じます。時計の精度を保つためには、強い磁気が発生する物に近づけないようにしてください。
- 強い衝撃を受けた場合も精度に差が生じます。

■ 機械式時計のお手入れについて

機械式時計は、油切れや摩耗などにより精度が不安定になります。定期的(2～3年ごと)に分解掃除(有償)をご依頼ください。また、長期のご使用による部品の摩耗などが原因の性能の劣化は、修理による初期性能への復元が困難な場合もあります。

この時計の特長

■ 200m防水時計

- この時計はスキューバ潜水用防水時計(200m防水時計)です。空気ボンベを使用したスキューバ潜水には使用できますが、ヘリウムガスを使用する飽和潜水などでは絶対に使用しないでください。

■ 自動巻きムーブメントの採用

- 装着したときの手の動きによってぜんまいを巻き上げ、ぜんまいの力によってムーブメント(時計)を駆動する、自動巻きムーブメントを採用しています。

【自動巻き】

腕に着けて使用すると、日常の腕の動きでぜんまいが巻き上げられます。

【手巻き】

りゅうずを押し込んだ状態で右に回すと、ぜんまいが巻き上げられます。

ご使用になる前に

■バンド調整について

お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)。



バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

■保護シールについて

時計のガラスや金属部分(裏ぶた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

■ 特殊な構造のりゅうずの使いかた

時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロック りゅうず	 <p>りゅうずが飛び出すまで、左に回す</p>	 <p>りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める</p>

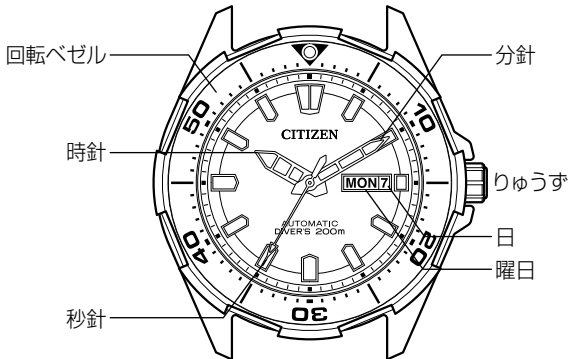
■この時計(自動巻き機能つき時計)についてのお願いとご注意

- 時計を腕に携帯している場合は、自動的にぜんまいは巻き上がりますが、腕から外すと約2日でぜんまいの力がなくなり止まってしまいます。
- 時刻合わせ(時、分針合わせ)を行う際は、十分にぜんまいを巻き上げた後に行なってください。
- ぜんまいの巻き上げが不十分のまま時刻合わせを行うと、秒針が2~3秒振れることがあります。

ぜんまいを巻き上げる方法は、手でりゅうずを右に回転させて巻き上げる方法と、時計を軽く振って巻き上げる方法があります。時計を左右に強く振って巻き上げた場合、まれに秒針が振れることがあります。

この場合でも、時計の機能や性能に影響はありません。

各部の名称



- お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストと異なる場合があります。

ぜんまいについて

この時計は、ぜんまいを原動力にして動いています。

- ぜんまいを十分に巻き上げると、時計は約40時間動作します。
- ぜんまいを常に十分に巻き上げてお使いいただくと、安定した精度を維持することができます。

■ぜんまいの巻き上げについて

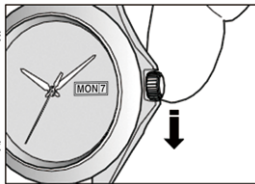
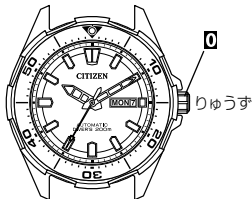
この時計は、機械式自動巻時計(手巻き機能つき)です。腕に着けて使用すると、腕の動きでぜんまいが巻き上げられます。1日8時間以上携帯することをおすすめします。なお、デスクワークなど、腕の動きが少ない場合は、ぜんまいの巻き上げが不足することがあります。その場合は、手動で巻き上げてください。

注意

防水性を高めるため、ねじロックりゅうずを採用しています。りゅうずを操作する際は、りゅうずを左に回して、ねじロックを解除してから行ってください。操作が終わりましたらりゅうずを通常位置に戻した後、必ずりゅうずを押しながら右に回して、ねじをきちんと締めてください。

■ぜんまいを手動で巻き上げる

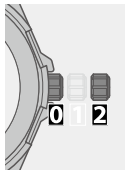
りゅうず位置を**0**にしてりゅうずを右回り(時計回り)に回すと、ぜんまいが巻き上げられます。



- 時計が止まった状態から、りゅうずを約40回転させると、ぜんまいが十分に巻き上げられた状態になります。
- ぜんまいが十分に巻き上げられた状態からさらにりゅうずを回しても、ぜんまいが切れる心配はありません。

時刻とカレンダーを合わせる

時刻を合わせる



1 りゅうずの位置を **2** にする

2 りゅうずを回して時刻を合わせる

- ・ 日が切り替わったときが午前0時です。午前、午後をまちがえないように時刻合わせを行なってください。
- ・ 曜日は、少し遅れて切り替わります。

3 りゅうずの位置を **0** にして終了する

■ カレンダーを合わせる



1 りゅうずの位置を ❶ にする

2 りゅうずを回して日、曜日を合わせる

- ・ りゅうずを左に回すと日が変わります。
- ・ りゅうずを右に回すと曜日が変わります。曜日は2カ国語の表示が交互に出ます。好みの表示に合わせて、あとは自動的に指定の表示になります。

3 りゅうずの位置を ❷ にして終了する

- ・ 時計の針が午後9時～午前4時30分を示しているときは、カレンダーの修正は避けてください。この時間帯に早修正すると、翌日になってもカレンダーが切り替わらないことがあります。
いったんこの時間外に針を動かしてから、日、曜日を合わせてください。
- ・ この時計の日は31日周りです。3月、5月、7月、10月、12月の月初めには日を修正してください。

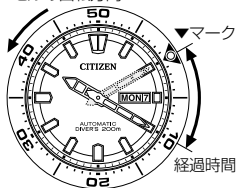
回転ベゼルを使う

潜水時の経過時間、または、決められた時間に対する残り時間の目安を知ることができます。

- 回転ベゼルは、左方向にのみ回転します。危険防止のため逆回転(右回転)はしません。

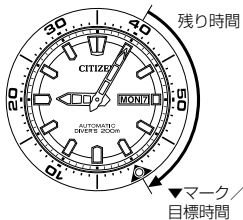
経過時間を知る

ベゼルの回転方向



- 1 回転ベゼルを回して、▼マークを分針の位置に合わせる
・▼マークの位置を0分とします。
- 2 分針が指す回転ベゼル上の目盛りを読んで、経過時間を知る

残り時間を知る



- 1 回転ベゼルの回して、現在時間に目標時間を加えた位置に▼マークを合わせる
 - ・ 図では、20分間を目標時間とし、現在の分針の位置に加算しています。
- 2 分針から▼マークまでの時間を読んで、残り時間を知る







防水性能について

⚠ 警告 防水性能について

- 潜水用防水時計は、空気ポンプを使用した空気潜水(スキューバ潜水)には使用できませんが、ヘリウムガスを使用する飽和潜水などには使用できません。

名称	表示	仕様
	文字板または裏ぶた	
潜水用防水時計	DIVER'S 200m	200m防水

- この時計に使用されているパッキングは消耗品のため、長期間のご使用により劣化します。パッキングが劣化すると、防水性能を維持できなくなり、時計内部に水が入って時計の機能異常や動作停止の原因となる場合があります。2~3年毎に弊社で点検(有償)をお受けになり、必要に応じてパッキングやガラスなどの交換を行ってください。

使用例					
					
水がかかる程度 の使用。(洗顔、 雨など)	水仕事や一般 水泳に使用。	スキンドイビ ング、マリンズ パーツに使用。	空気ポンベ使用 のスキューバ 潜水に使用。	ヘリウムガスを 使用する飽和 潜水に使用。	濡れたままの りゅうずや ボタンの操作。
○	○	○	○	×	×

お取り扱いにあたって

注意 人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

注意 使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態(通常位置)でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
 - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
 - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
 - 入浴するときは時計をはずす。
- 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。
時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど)が外れる危険があります。

注意 携帯時の注意

<バンドについて>

- 皮革バンドやウレタンバンド(ゴムバンド)は、汗や汚れにより劣化します。また皮革バンドは自然素材のため磨耗や変形、変色などの経年劣化があります。定期的に交換してください。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。(脱色、接着はがれ)また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドに揮発性薬品、漂白剤、アルコール成分が含まれる物質(化粧品など)が付着しないようにしてください。色落ち、早期劣化の原因となります。また、直射日光などの紫外線も変色や変形の原因となります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンド(ゴムバンド)は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取り替えください。

- 以下の場合、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
 - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
 - バンドのピンが飛び出しているとき
- お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)。
バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

<温度について>

- 極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。

<磁気について>

- 強い磁界の中では、ムーブメント部品が磁気を帯び精度が大きくずれることがあります。磁気の強い健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、磁気調理器などに近づけないでください。

お取り扱いにあたって

<ショックについて>

- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

<化学薬品・ガス・水銀について>

- 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含むもの(ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

<保護シールについて>

- 時計のガラス部分や金属部分(裏ぶた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

注意 時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
- 汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド(ゴムバンド)は水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。

この塗料は太陽光や室内照明(白熱灯を除く)などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

保証とアフターサービスについて

<保証について>

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

<修理用部品の保有期間について>

弊社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

<修理可能期間について>

弊社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

<ご転居・ご贈答品の場合>

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

<定期点検(有償)について>

• 防水性能について

防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために2~3年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキングなどの交換をご依頼ください。

• 分解掃除(内装修理)について

腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除(内装修理)が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として2~3年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

<修理について>

時計の品質を維持するために、この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご依頼ください。

<その他お問い合わせについて>

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

製品仕様

機種	8203	型式	機械式時計(自動巻)
携帯精度	平均日差-10秒~+20秒 (ご使用条件によっては、携帯精度範囲を超える場合があります。)		
表示機能	・時刻 時針・分針・秒針 ・カレンダー 日・曜日		
持続時間	約40時間		
振動数	21,600回/時(6ビート)		

付加機能	<ul style="list-style-type: none">• カレンダー早修正機能• 曜日2カ国語表示機能• 自動巻機能• 手巻き機能
------	---

* 製品仕様は、改良のため、予告なく変更することがあります。

<http://citizen.jp/>